

6月24日／28日 夜叉ヶ池山

平尾繁和

山名	夜叉ヶ池山	山行名	例会	
ルート	登山口～夜叉ヶ池～夜叉ヶ池山～夜叉ヶ池～登山口			
山行日	A班：2020年6月24日（水） B班：2020年6月28日（日）	天候	小雨後晴れ、曇り後晴れ	
参加者	A班：CL：平尾 SL：西川洋 女性：上田、大林 男性：中田、山下隆 /6名 B班：CL：平尾 SL：北條 女性：伊藤多、倉光、藤本 男性：黒崎 /6名			
 <p>ルート概略 (中田作)</p>	コースタイム (6/28)			
	地名	時：分	地名	時：分
	京田辺他	発 6:30	夜叉ヶ池	着 12:25
	多賀SA	着 7:30		発 13:00
	坂内登山口	着 9:20	登山口	着 14:45
		発 9:40		発 15:00
幽幻の滝	着 10:55	多賀SA	着 16:50	
	発 10:55		発 17:10	
夜叉丸	着 12:00			
	発 12:05			
<p>当初6月2日予定だったが、緊急事態宣言解除間なしで他府県への移動自粛等の状況を見るため延期していた山行。登山口を福井県側から乗車時間及びコースタイムの短い岐阜県側に変更、岐阜県側登山口への林道の冬季通行止め解除を待っていた。申込が十数人だったので、3密を避け久々の山行での安全を優先するため山行人数を絞り、平日と日曜の2班に分けて計画した。山開きの日以降、梅雨入りとなり10日間予報を毎日に見ながら降水確率の低い日を設定した。幸い両日も、天候に恵まれみなさんの協力で無事実施することができた。A班、到着時何台かが駐車、小雨で雨具をつけ出発するも20分ほどで脱ぐ。B班、当日の降水確率は60～80%だったが8時以降は曇りの予報だったので実施を決定、現地で沢の増水状況、岩の濡れを見て安全第一に判断することとした。地元車中心に数台が駐車、下山間際に通り雨にあったものの傘も雨具も出すことはなかった。お目当てのニッコウキスゲも岐阜県側から登ったおかげで、夜叉壁の崖や夜叉ヶ池山への尾根筋に花をたくさん見ることができた。最初に2回の木橋と3回の短い渡渉があり、川上国有林の登りの後は山腹を巻くように整備された緩やかなブナ林の中に行く道が続く。幽幻の滝と昇竜の滝、夜叉壁の絶景、夜叉ヶ池への最後の上りがロープや鎖のつけられた岩・ざれ場など、距離や標高差は少ないものの変化のある山歩きが楽しめた。自然が豊かでコアジサイ、ヤマボウシ、ササユリ、ヤマツツジ、ツルアリドオシ、アザミ、イブキトラノオ、オオバギボウシなどたくさんのお花とも出会えた。山上の夜叉ヶ池は不思議な世界で、ガスが時折かかり幻想的な雰囲気にも包まれていた。静かな池面の向かいの樹木には白い花が一面に咲いたようにモリアオガエルの卵塊がたれさがり、小さなオタマジャクシもイモリにまじって泳いでいた。ヤシヤゲンゴロウらしきも見られたが、ヤシヤゲンゴロウはこの池にのみ生息する国内希少野生動物種に指定されている絶滅危惧種。A班は稜線で強風のため登頂は取りやめたが、B班は露岩の尾根筋をよじ、肩を越すササをかき分け夜叉丸(1109m)まで来た。夜叉ヶ池山まであとわずかだったが、先行者が藪漕ぎがひどいと諦め戻ってきたので、記念撮影をして引返した。</p>				
ヒヤリハット	なし			



夜叉ヶ池 (A班)



夜叉丸 (B班)



ブナ林



幽幻の滝



ブナ



昇竜の滝



夜叉壁



岩場



夜叉ヶ池山へ



モリアオガエルの卵塊



幻想 夜叉ヶ池
夜叉ヶ池山 感想

(写真 黒崎、藤本、平尾)

いい山だった！

倉光 展子

○夜叉が池山は福井県と岐阜県の県境にある。夫は10年ほど前、山友会で福井県側から登ったそうだ。「福井県側からの登山は何ということはない、普通の山行だった」と言う。私たちは今回岐阜県側からのアプローチとなった。事前の連絡で、リーダーから「渡渉が2か所、岩登りもある…行って見ないとわからない」と説明があり、少々不安になる。難しそうな山行と、少々緊張して当日に臨んだ。しかし結果的には岐阜県側からの登山でよかった。渡渉の川は小川だし、水嵩もそんなに増えていなかった。岩登りもそんなに急峻ではないし、距離も短かった。むしろ変化があって、楽しかった。ブナを中心とした大木の林、豊かな植生、2つの楚々とした清らかな滝を通り過ぎていく。そして私が一番魅かれたのは、行く手にそびえる大きな岩の稜線。それを仰ぎ見ながら、向かって行く。近づくと、そこはお花畑。盛りは過ぎたものの、あちこちにオレンジ色のニッコウキスゲ、そしてまだ凜と咲いているささゆり。稜線から夜叉が池まで下りていく。さわやかなエメラルドグリーンの世界が広がる。湖畔の木々の濃淡の緑が鮮やかに湖面に映っている。木々からモリアオガエルの卵の袋が垂れて、緑の中に白い線のアクセントを作っている。標高1100mの美しい自然の芸術だ。池のほわりでお弁当を食べていたら、夜叉ゲンゴロウが近づいてきた。夜叉が池の固有種である。モリアオガエルやイモリ等の幼虫を食べて、池の生態系の頂点に立っているとか。たくさん食べて、「絶滅危惧種」のグループから抜け出すのだよ。(ひいきになるか!) 村の人は保護活動をやっているらしい。村人と言えば、この池にまつわる伝説がある。泉鏡花はそれをもとに戯曲を書いたとか。登山の前に、それぐらいは読んだらいい、と夫から助言をもらっていたが、それもしないまま来た。ぜひ読んでみたいと、池を見た後強く思った。こんないい山を紹介してくださった平尾リーダーに感謝しながら、充実した日は終わった。今回2回続けて山行に参加したが、コロナの厳しい時代に、待望の山々に行けたのはリーダーたちのいつも以上の入念な計画、対応のお蔭です。本当にありがとうございました。

中田 繁男

○梅雨の最中束の間の晴れ間に出かけられました。快晴までは望めませんが曇り空の中登山口には平日にもかかわらず、約40台収容の駐車場には沢山のマイカーが見られます。県を跨いだナンバーが多く、人気の山だと知れました。岩壁から水が滴る山道には、山アジサイが一面に満開!! 沢を何度か渉るところは山頂からの激しい水が流れ落ちて、岩壁から大きく長い滝「幽玄の滝」等が出迎えてくれるところからは山々が一望出来て気持ちいい!! 広葉樹林帯ではブナの原生林に囲まれて涼しい中を進んでいきます。後半の岩壁の登りにはロープが随所に見られ、展望の良い中を楽々と登れました。登り切った先には深い樹林帯が見え、少し降りて夜叉ヶ池に到着した。池の周りには沢山のハイカーが休憩中。池の周りには「モリアオガエル」の白い泡の卵が花のように見えます。休憩していたら池の上に霧が出てきて、グルグル回り始め幻想的な様子を眺めていました。そのうちに風が強くなり、展望がない山頂は危険と判断したCLが登頂断念して下山することになった。ニッコウキスゲは残念ながら観られませんでした。山ユリが頑張っているのが嬉しく、先週に怪我した脚の痛みも忘れ楽しく一日を終えられました。

大林 京子

○交通の不便な山行はなかなか行けないので車で山行でしたので参加させて頂き綺麗なお花が咲き、新緑も美しく夜叉が池迄しか風が強くて登る事は出来ませんでしたでしたが楽しい山行でした。いろいろとお世話して頂きましてありがとうございました。

黒崎 隆生

○4月に入会させていただきましたが、コロナさんのお陰で前日のロープ講習に続き山行にやっと参加できました。昨晚の雨で、どうなるかと思いましたが登山口に到着する頃には雨も上がりました。登山口を暫く進むと、つづら折りの坂とブナとミズナラの中を歩き夜叉壁を見ながら歩きやすい登山道を進む。(ブナとミズナラの事よくわかってませんが...)夜叉ヶ池手前の急なロープのある岩を登り龍神伝説の場所、夜叉ヶ池ではイモリとヤシャゲンゴロウを見ながら昼食タイム後下山した。帰路の際、可愛い小熊に一瞬だけ会いました。来月はYケンに参加します。よろしくお祈りします。

藤本 光代

○一度行った山はあまり何度も行かないんですが、今回かなびに夜叉ヶ池？福井県？夜叉ヶ池も聞いたことなく私の好きな福井県の山？それは参加にしないとぉーと思い参加させてもらいました。行く3日前から色々検索し岐阜県側からだこのルートかぁとか池が山頂？三角点はないのか？とか…一日花のニッコウキスゲはチェックし。雨の雫がついてるニッコウキスゲは健気で登山口手前の道には白山にも沢山咲いているミヤマシシウドもみれ、少ししか咲いてなかったオオバキボウシも綺麗で一日楽しめました。平尾リーダー他メンバーありがとうございました。

伊藤多恵子

○雨で流れるかと心配していた「夜叉が池山」例会。実はずーっと行きたかったところで、実施されて嬉しかったのなんの。福井と岐阜の県境に位置する山域で、とても山深いところでした。歩き出して始めのうちは急な上りが続き、しんどいと思い始めてすぐにフラットな道に。歩き易い気持ちのいい道。沢を横切り、道端の花を眺め、ブナの巨樹を仰ぐ。やがて岩の屏風のような景観が見えてくると、幽玄の滝、昇龍の滝と出会う。夜叉が池への最後の登りは岩場の連続だ。ロープが何本も据えられているので誰でも登れるが、私の足はひどく重い。歳のせいかな、21日(御在所岳)の疲れが取れていないのか、情けなくなってくる。でも、頑張っただけで辿り着いた夜叉が池は想像以上に素晴らしかった。こんな山の上に、どうしてこんな美しい池が…。お昼を食べながら長い間眺めて飽きない。池に映り込んだ緑陰。木と共にモリアオガエルの卵の泡袋もまるで白い花のように映っている。ゲンゴロウにイモリ、小さなオタマジャクシはモリアオガエルの子だろう。この池だけが世界のすべてなのだろうか小さな生き物たちの一生に思いを馳せる。今後、どの山の風景も私にとっては一期一会となるかもしれないなあ～と思いつつ、山を下りました。

北條 都

○新型コロナの自粛が緩められて初めての山行、雨の中を歩くと覚悟していたのに、ほとんど雨に遭うこともなく、また、カッパも着ることもなく山行を楽しむことができた。夜叉ヶ池はともきれいで、モリアオガエルの卵が、花のように木から垂れ下がっている様子やヤシャゲンゴロウを見ながら食べたおにぎりは美味しかった。今年は、山行部に所属していることもあり、いろんな山行に参加していけたらと思っている。

<見かけた花>



ササユリ



コアジサイ



ニッコウキスゲ



左から、ヤマボウシ、ツルアリドオシ、イブキトラノオ、タカネアオヤギソウ、ミヤマイボタ



シモツケソウ

その他の花：ヤマツツジ、ヤマアジサイ、トリアシシヨウマ、オオバギボウシ、アザミ s p、ギンリョウソウ他

動物：ヤシャゲンゴロウ、イモリ、モリアオガエル (幼生、卵塊)、ツキノワグマクマ (林道)